

農業経営者の 「農力」向上のため 力を尽くす



大久保 荘司

OKUBO Shoji

税理士法人のぞみ
(長野県松本市)

今世紀初頭、ネットワークを介した情報網の発達が大きな起点となり、そして最近の新型コロナウイルスの蔓延が、従来の価値観や生活様式を大きく変えました。社会の様相や価値観の変化を、肌で感じている方が多いのではないのでしょうか。

このような情勢もあり、農業経営者の方々の考え方も大きく変わってきたように感じています。特に最近では、熱意を持って異業種から参入する方が増えてきており、旧来の考え方、売り方に固執しない方々が台頭してきました。彼らは総じて、非常にとがった個性を持っており、是非曲直はともかく、新時代の先駆者とも言えるでしょう。

このような方々とは仕事を通じ

て、刺激を受けることが多々あります。具体例を挙げると、数年前、林業に携わりたいという熱意からこの業界に飛び込み、事業承継した女性がいました。この方は当時の経営者と血縁はなく、紆余曲折

さで、このような方々が存在感を増すなかで、「能力」改め「農力」向上のために上級農業経営アドバイザーという立場から提供できるものは何でしょうか。単刀直入に言うと、まずは経営に必



©高橋 智裕

を経て社長に就任しました。まだ若いうえに人脈もなく、今よりも閉鎖的であった林業という世界で、持ち前の行動力を発揮して、それまで業界内ではあまり重視されなかった「労働環境」「適正賃金」「多角化経営」の整備に力を入れました。先進的な考え方のため、当時は周囲との軋轢も多く、大変なご苦勞もされましたが、今では職場に女性も増えて、他業種ともさまざまな相乗効果を生み出しながら順調に経営されていると聞いています。

要な基礎知識を体系的な情報として提供することに尽きると思います。農業経営にも他産業の経営同様、「税務会計」「労務管理」などの知識は必要です。こういった知識は不要な失敗を避け、高い志と理想の実現に向けて、着実に歩みを進める助けとなることを、実務を通じて感じています。

永続的な農業経営発展の一助となるべく、基礎知識提供や経営課題の解決支援を通じ、農業経営者の方々の「農力」を高めるために力を尽くしたいと思います。 **F**

おおくぼしょうじ

1977年長野県生まれ。税理士法人のぞみで地元の中小企業の発展のために、法人設立、税務会計、経営相談などに従事



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。